現在の景気：県内景気は、緩やかな持ち直し傾向が続いている。非製造業では、新型コロナウイルスの影響が引き続き減衰する中で、観光や飲食などの対面型サービス業の回復が明確化しているほか、自動車や百貨店の衣料などの販売も上向いている。製造業では、輸出回復などに支えられた改善基調をなお維持している。この間、建設需要は、交通インフラ整備や物流施設などの官民プロジェクトの進展などを背景に総じて底堅く推移しているが、建設コスト上昇等から住宅着工にやや陰りがみられる。

3か月程度の見通し：非製造業は、物価高の影響を受けつつも、水際対策の終了（4月29日）や新型コロナウイルスの感染症法「5類」への引き下げ（5月8日）など経済活動の正常化が進む中で、対面型サービス業を中心に持ち直しの動きが続くとみられる。この間、製造業では、標準シナリオでは改善基調が維持される見込みだが、物価上昇や金融引き締めなどに伴う海外経済の不安定化リスクを引き続き注視する必要がある。

個人消費：①上向き。②3月の県内百貨店（存続店ベース）の売上は、前年同月比4.3%増と3か月連続で前年を上回った（19年比では9.3%減）。卒業式など対面での式典再開を受けてセレモニースーツなどが好調だったほか、マスク着用ルールの緩和により化粧品の売上も上向いた。4月入り後も、気温上昇に伴い春物衣料を中心に堅調な動きが続いている模様。3月の自動車登録台数は、部品調達難の緩和などから、同5.0%増と7か月連続でプラスとなった（19年比では15.6%減）。一般乗用車（前年同月比4.9%増）、軽乗用車（同5.2%増）ともに増加した。

住宅建築：①鈍化。②3月の新設住宅着工戸数は前年同月比7.4%増加し、3か月ぶりに前年を上回った。持家（同20.2%減）は減少したものの、貸家（同17.2%増）、分譲住宅（同14.8%増）が増加した。

設備投資：①堅調。②国土交通省の「建設着工統計」（非居住用）によると、22年度累計の工事床面積は前年度比21.6%減少し、工事予定額も同10.0%減少した。千葉経済センターによる県内企業182社アンケート調査（4月実施）では、22年度の設備投資実績（全産業）は21年度実績額を8.6%上回って着地した。23年度の期初計画は、22年度実績額の2.5倍となっている。

公共工事：①増加。②22年度累計の県内公共工事請負額は、前年同月比11.8%増加した。県（同3.0%減）は減少したが、独立行政法人等（同2.2倍）、国（同6.8%増）、市区町村（同6.4%増）は増加した。

輸出：①増加基調。②3月の成田、千葉、木更津3港合計通関輸出額は、前年同月比2.8%減と2か月ぶりに減少した（19年比では50.1%増）。千葉港は、鉱物性タール（前年同月比53.4%増）や金属鉱（同43.5%増）などの増加により、同7.8%増と2か月ぶりに前年を上回った。木更津港は、自動車（同58.1%増）や鉄鋼（同17.2%増）などの増加により、同24.6%増と2か月連続でプラスとなった。一方、成田空港は、IC（同23.0%増）などは増加したものの、非鉄金属（同27.5%減）や電気回路等の機器（同14.9%減）などが減少し、同4.1%減と2か月ぶりに前年を下回った。

生産活動：①減少。②2月の県産工業生産指数（季調済）は、88.6（前月比0.9%上昇）と7か月ぶりに上昇した。化学工業（同6.4%低下）などは低下したが、鉄鋼業（同13.2%上昇）、生産用機械工業（同8.3%上昇）などが上昇した。

観光：①回復。②県内の観光・宿泊施設の入込は、全国旅行支援の千葉県版「千葉とく旅キャンペーン」の実施期間延長（3月末→6月末まで）も後押しとなり、国内個人客を中心に回復が明確化している。県内では、「千葉城さくらまつり」（3月25日～4月2日）をはじめとした季節催事を3～4年ぶりに再開する動きが相次いだほか、開業40周年を迎えた東京ディズニーリゾートでは、周年記念イベント「ドリームゴーラウンド」（4月15日～24年3月31日）をスタートし集客に弾みをつけている。

雇用情勢：①改善。②3月の有効求人倍率（季調値）は、前月比±0.00ポイントの1.06倍だった。有効求職者数（同0.5%減）、有効求人数（同0.6%減）ともに減少した。

【トピックス】

- 米グーグルは、印西市鹿黒南にデータセンターを開設した（4月13日）。同社が日本にデータセンターを設けるのは初めてで、アジアではシンガポール、台湾に続いて3か所目。千葉県や印西市在住の子どもを対象に、プログラミング教育などの支援にも取り組むこととしている。
- そごう千葉店は、約10年ぶりとなる全館リニューアルを始めたことを発表した（4月20日）。本館は営業を継続して段階的に、別館・ジュンヌ館は今夏に一時閉館して改装を進め、24年中のグランドオープンを目指す。
- 千葉大学は、24年度より新たに「情報・データサイエンス学部／学府（博士課程）」を設置することを公表した（4月24日）。学部の新設は16年以来8年ぶり、西千葉キャンパスへの設置を予定している。